

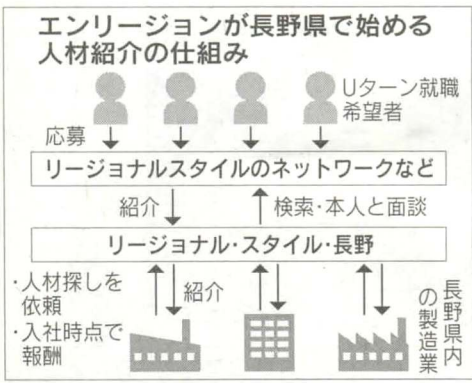
長野でUターン転職仲介

同業と新会社 中小製造業向け

人材紹介を手がけるエンリージョン(新潟市、江口勝彦社長)は、Uターン就職を希望する人材を長野県内の中小企業に紹介する事業を6月から始める。首都圏などの製造業で働いた経験者が対象。東京の同業者と長野に新会社を設立し、実際に転職するまで費用がかからない成功報酬型で、ベテラン社員の定年などで人材を募る地元メーカーを開拓する。

ヘッドハンティングをに設立した。社長には51手がけるクライス・アン%を出資するエンリージョンの江口社長が就任。ド・カンパニー(東京・港、丸山貴宏社長)との当初2人で事業を始め、共同出資で、長野市内に年内に新たに2人を雇用新会社「リージョナル・スタイル」を2日する。県内中小製造業を対象

エンリージョン



主に30代以上の人材を紹介する。首都圏などで働く人を地方に紹介するリージョナルスタイル(東京・港)と提携、同社を通じて都市部の転職

希望者を県内企業に仲介する。

エンリージョンは同じ手法で新潟県内で紹介事業を始めている。長野進出にあたっては、長野県内に拠点を持つクライス・アンド・カンパニーと

希望に沿った人材をテレビ電話などを使って絞り込んだうえで顧客企業に紹介する。採用が決まり入社した時点で、年収の35%(税抜き)を紹介手数料として得る。

団塊の世代の引退などで、地方の中小企業が即

戦力となる理工系の人材を募集する場合、これまでは求人広告など募集手段が限られていた。都市部に広がる成功報酬型を導入、初年度10人の仲介を目指す。

江口氏は新潟アルビレックスBBの元バスケット

トボール選手。引退後、リクルートなどで営業職を経験し2010年10月にエンリージョンを設立した。新潟県内でこれまでに約30人のUターン就職を支援。12年9月期は5000万円の売り上げを見込む。

江口氏は新潟アルビレックスBBの元バスケット